

### 放射能汚染の 対応と情報開示を 対応策は県の公表を見守る

桜井 博義議員

**問** 村内の牧草から基準値を超える放射性セシウムが検出されましたが、農家への連絡は自粛要請のみで、情報はマスコミ報道頼み、農家への説明に5日間も要したことから対応の仕方をどう検証されているのか。

**答** 又、福島原子力発電所は今後も放射能を拡散する危険が予測されることから今後の対応策も伺います。

**問** 国、県、村も初めてのことで畜産農家も戸惑いや不安があったと思われま

**答** 国、県、村も初めてのことで畜産農家も戸惑いや不安があったと思われま

**問** 被災地では自治体職員にも多数の犠牲者が出るなどして人手が足りず仕事に支障をきたしています。この間、本村の職員派遣は短期が中心ですが長期の派遣も必要と考えますがどうか。

**答** これまで支援物資の提供から行政機能を図ることからも保健

師・栄養士・事務職員・給水支援など派遣し支援活動を展開してまいりました。  
現在、県では復旧・復興に中・長期的な視野で「復興ビジョン」の策定に取組んでいます。村では、今後の復興には相当の時間を要することから長期的な派遣も含めた支援を考えています。

### 身近な 公営墓地の考えは

**問** 団塊世代が定年を迎え、高齢化が進む中、最後は住み慣れた所で眠りたいと願う、身近に墓地の必要性が高まっていますが考えは。

**答** アンケートでも要望が高まっていますが、現在、法人墓地は相当数の区画があることから、今後の状況の推移、住民ニーズを把握しながら対応します。

### 東日本大震災後の 節電に対する村の対策は 計画的に各階2時間停止 エアコンを日中は

斉藤 健二議員

**問** 電力各社が15%の電力需要抑制を促していますが、村の施設、村民に対する対応について伺います。

村民に対しては、村のホームページに、関連記事を掲載して節電に協力をお願いしています。

**答** 村庁舎の節電対策については、東日本大震災以後、空調機の停止や照明の間引き点灯に努めています。

**問** 28年国体開催が危惧されているが村は

また、電力使用のピークとなる夏期は、最大消費電力機器のエアコンを28℃に設定し、日中は各階を、計画的に一日2時間、停止することと致しました。

照明についても業務に支障のない範囲で、原則消灯とし、昼休みは、二階窓口を除いて全庁舎を、消灯し節電に努めてまいります。

**問** 28年に岩手県で開催予定の第71回国体ですが、東日本大震災の復旧、復興に、人的・財政的に全力を傾注することから開催が非常に厳しいとされていますが村の対応を伺います。

県体育協会の評議員会では、県が28年に開催しない場合、前に開催しない場合、前倒しが、不可能であり空白となることから縮

**問** 住民が主体的に運営する、総合型地域スポーツクラブへの育成支援を伺います。

**答** 本村では、チャグチャグスポーツクラブとして、財団法人滝沢村体育協会が運営主体となり、各種目別協会が、指導しております。村からは、スポーツ振興の一環として財政支援と施設使用料を免除しています。



### 危機管理施策の 充実強化の取り組みは 危機管理対応方針を 策定所管部局が対応

新志会  
遠藤 秀鬼議員

**問** 天災・人災を問わず、不測の事態に対する危機管理施策と防災対策の取り組みについて伺います。

**答** 本村において危機が発生し、又、発生する恐れがある場合に備え、村民及び滞在者の生命・身体及び財産への被害の防止、軽減を図ることを目的として、平成22年1月に「滝沢村危機管理対応方針」を策定しています。

**問** あらゆる事案に効果的に対応できる「危機管理対応力」の強化施策と今後の取り組みは。

**答** 緊急事案が発生した場合に迅速かつ円滑に対応するため、対応マニュアルや行動手

順書等を整備しておりますが、危機対応力の強化を図る観点から、随時検証し、見直しを図ります。

**問** 防災対策の充実強化施策とその取り組みは。

**答** 災害発生の度合いが高いほど行政の対応は、村内に十分に行き渡らないことが懸念されます。

自助共助により「自分たちの地域は自分たちで守る」という「自主防災組織の活動」の重要性が認識されており、地域住民が協力し合う組織が設立されるように支援してまいります。

### 安全・安心な 学校体制の確立を

**問** 災害発生時の緊急対策と取り組みは。

**答** 学校毎に消防計画や防火管理規定の中で災害発生時の緊急対策と取り組みは火災や災害発生時に対応する計画となっており、避難訓練については全ての小学校で年二回以上実施しています。

**問** 教育活動の混乱に関わる対策及び今後の取り組みは。

**答** 日常的な指導の中で、児童生徒との信頼関係を築き、全ての教育活動を通じて、規範意識や社会性を育むようきめ細やかな指導を行うことが基本ととらえており、各種危機管理マニュアルを策定し教職員の人事管理や施設の安全管理なども含め、未然防止と早期発見・対応が重要であると考えております。

## 議会に ズバリ一言!

今回は、滝沢村役場新採用職員から  
お寄せいただいた感想をご紹介します!!

採決がシステムを用いることによって賛否が明確にわかってよい。  
質問者、答弁者の多くがレジメを見るために下を向きカメラに顔が映らないのは残念だと思う。  
提案理由説明者が市町村議会によって違うことがわかった。(矢巾町は町長が説明)  
答弁には課長のサポートが重要。議案に対して多くの質問があり、活発な議会になったと思います。

質疑において多くの意見が出されて良かった。答弁の際、もっと具体的にすることで分かりやすいものになり、スムーズな進行、議論が深まるのではないかと思います。  
質疑でも、具体的な案を提示する必要があるのではと思いました。  
行政において政策を進める際、やはり具体的な説明及びその政策による具体的な見通し、効果を明確にすることが重要であると感じた。  
各議案において、反対がなくても、更なる案を出すが必要であると思いました。

画面に発言者の名前や映像が出て、観ていて分かりやすかった。採決ボタンがあることでスムーズに進めることができていることがわかった。  
資料が配られたが、細かくは書いていないので、聞いていて分かりづらいところもあった。実際に傍聴してみても、村がよりよい方向に向かっていくために、議会が大切な役割を果たしていることを知りました。